

西柴防災ニュース

西柴団地自治会防災部

横浜市金沢区西柴四丁目1-11

西柴団地



2023年11月19日(日)「西柴小地域防災拠点訓練」を実施し、被災を想定した防災拠点の立上げと、運営に必要な各班の動作や備蓄倉庫・備蓄品などを一つひとつ丁寧に確認しました。

避難者受付



避難者受付時に検温を実施し、健康な方、感染症の疑いのある方、ケガ人などの行き先をお伝えします

“かまど君”による米炊飯



避難者用の米炊飯（今回は無洗米100名分）を実施し
訓練参加者への配給訓練も合わせて実施しました

区役所直通回線確保



直通連絡用回線を電話機と繋ぎ
金沢区役所と通話できる事を確認



特設公衆電話*回線確保 (C棟横)



*災害時用公衆電話のこと
災害用伝言ダイヤル(171)や
知人への連絡が無料で可能

避難所設営(体育館**)

**体育館はC棟3階



避難者用テントと段ボールベッドを設営
体育館でWi-Fiが使用できる事も確認

ハマッコトイレ設営



ハマッコトイレ用マンホール上に設営します

ハマッコトイレ用 注水ポンプ動作確認



プールからの注水訓練を実施

資機材の搬出 (C棟前備蓄倉庫)



資機材を搬出して防災拠点を設営

詳細は次ページ以降
(そもそも地域防災拠点とは？など)

そもそも“地域防災拠点”とは？

✓地震等の災害において自宅に住めなくなった時に、一定期間避難生活を送る場所です。

📖 その他にも“いつときの避難場所”や“広域避難場所”、“風水害避難場所”があります。

💡 詳細は防災ニュース第55号(2023年8月1日)を参照下さい ⇒

QRコード

「西柴小地域防災拠点」について

- ✓西柴小学校に避難した住民や地域の在宅被災者に対し、救護・救援等を行う支援拠点の役割を担います。
- ✓対象区域は、**西柴団地自治会**と**横濱サウス自治会**が横浜市により指定されています。
- ✓震度5強以上の地震が発生した場合、地域防災拠点を立ち上げます。
- ✓災害時には**西柴小地域防災拠点運営委員会**が中心となり運営を行ないます。

(出典)横浜市ホームページ
金沢区防災マップより
西柴小地域防災拠点地域
を切り抜き、一部追記



運営委員構成

- ・**西柴団地自治会**および**横濱サウス自治会**の住民代表
(役員やブロック長、組長などが中心)
- ・**西柴小学校管理者** (校長先生、副校長先生)
- ・**横浜市職員** (金沢区災害対策本部学校拠点班員)
- ・**金沢消防団第二分団員、防災協力団体**

2023年度は**合計92名**※ (自治会の推薦等による)
※運営委員会経験者と初参加者の割合は半々程度

✓災害時、運営委員は予め割り当てられている役割分担に沿って運営します。

本部	・拠点運営総合調整、区災害対策本部との連絡調整 (両自治会長・学校管理者・行政機関・消防団等)		
情報班	・状況把握 (避難者状況、被災状況、等) ・支援情報周知、他防災拠点との情報交換	食料・物資班	・食料や物資の必要量の把握、炊き出し支援 ・避難者、在宅被災者への飲食料調達・提供
避難者管理班	・避難者名簿、受入、生活ルール運用、等 ・避難者による 避難所運営班 の組織化	救護班	・避難者や地域住民の救護 (応急手当)、等 ・地域内診療所との連携、救急病院への搬送
環境衛生班	・トイレ確保、衛生管理、生活用水確保 ・ 避難所運営班 への上記業務の移管	学校再開準備班	・臨時PTA及び保護者説明会等の開催 ・暫定カリキュラム編成、金沢区との調整

上記表は各班の役割を抜粋・要約したものです

(参考：西柴小学校地域防災拠点運営マニュアル等)

西柴小地域防災拠点訓練について

- ✓昨年度同様にコロナ感染予防を考慮して、地域住民は不参加、運営委員にて訓練を実施。
- ✓運営委員はあらかじめ割り当てられている各班において訓練し、役割や動作等の確認と振返りを実施。

訓練概要と対応班

- ・避難所開設訓練 <本部 及び 情報班>
- ・避難者受付訓練 <避難者管理班>
- ・情報連絡訓練 <情報班>
- ・かまど君を利用したの米炊飯訓練 <食料・物資班>
- ・配給訓練 <食料・物資班>
- ・ハマッコトイレ設営訓練 <環境衛生班>
- ・体育館の避難所設営訓練 <救護班>



災害に強いアマチュア無線による区役所との通信バックアップ訓練



今回の防災拠点訓練の参加者は68名

- ✓防災拠点訓練当日終了後の主な振返り内容（参加者アンケートより抜粋・要約）

- ・今後の訓練では、**地域住民参加型、各班連携、より本番を想定したもの**にしたい。
- ・1度でも経験すると理解度が全然違うが忘れてしまいそうなので、継続した定期的な訓練が必要。
- ・今回も見直すべき箇所がいくつも確認できたので、何度も訓練を重ねて改善し練度をあげたい。
- ・感染予防や防止の観点で、検温は校門入口などとして受付と距離を取った方が良い。
- ・その他の改善：受付方法、指示命令系統、炊飯再検討、救護室準備、プライベート空間確保、等

- ✓その他の留意点や参考情報

- ・避難場所の体育館がC棟3階、ハマッコトイレは校庭(屋外)にあり、避難生活には工夫が必要。
- ・体育館に設置のWi-Fiについて、災害時にどこまで利用できるかは今後検証が必要。
- ・体育館ステージ下と、体育館ステージ裏の部屋にも備蓄品を収納。

- ✓これまでと今後の主なスケジュール

2023年7月
運営委員の
推薦・委嘱

2023/9/3
第1回会議
(顔合わせ、及び
運営委員説明)

2023/10/29
備蓄庫点検
(収納品確認、及び
発電機動作確認)

2023/11/5
第2回会議
(各班訓練準備)

**2023/11/19
防災拠点
訓練**

2023/12/3
反省会
(反省と次年度
活動確認)

～2024年夏頃まで(予定)
(次年度の運営委員委嘱まで)
災害時の西柴小地域防
災拠点の運営は、現在の
運営委員にて対応



非常用持ち出しバッグの準備、できていますか？

自宅が被災した際は、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

災害の「備え」チェックリスト

監修／内閣府政策統括官（防災担当）、内閣府男女共同参画局

非常用持ち出し袋 避難の際に持ち出すもの！

- ☐ 水

☐ 食品
（ご飯（アルファ米など）、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど：最低3日分の用意!）

☐ 防災用ヘルメット・防災ずきん

☐ 衣類・下着

☐ レインウェア

☐ 紐なしのズック靴

☐ 懐中電灯（※手動充電式が便利）

☐ 携帯ラジオ（※手動充電式が便利）

☐ 予備電池・携帯充電器

☐ マッチ・ろうそく

☐ 救急用品
（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）

☐ 使い捨てカイロ

☐ ブランケット
- ☐ 軍手

☐ 洗面用具

☐ 歯ブラシ・歯磨き粉

☐ タオル

☐ ペン・ノート
- 感染症対策にも有効です!!

☐ マスク

☐ 手指消毒用アルコール

☐ 石けん・ハンドソープ

☐ ウェットティッシュ

☐ 体温計
- 一緒に持ち出そう!!

☐ 貴重品
（通帳、現金、パスポート、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカードなど）

子供がいる家庭の備え

☐ ミルク（キューブタイプ）

☐ 子供用紙オムツ

☐ 抱っこひも

☐ 使い捨て哺乳瓶

☐ お尻ふき

☐ 子供の靴

☐ 離乳食

☐ 携帯用お尻洗浄機

☐ 携帯カトラリー

☐ ネックライト

女性の備え

☐ 生理用品

☐ サニタリーショーツ

☐ 防犯ブザー／ホイッスル

☐ おりものシート

☐ 中身の見えないごみ袋

高齢者がいる家庭の備え

☐ 大人用紙パンツ

☐ 介護食

☐ デリケートゾーンの洗浄剤

☐ 杖

☐ 入れ歯・洗浄剤

☐ 持病の薬

☐ 補聴器

☐ 吸水パッド

☐ お薬手帳のコピー

備蓄品

お家に備えておくもの！

☐ 食料や水（最低3日分!できれば1週間分）×家族分
保存期間の長いものを多めに買って置き、消費したら補充するという習慣にしていれば、常に食料の備蓄が可能!

☐ 生活用品
例えば、ティッシュ、トイレトペーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレ…など

ほかにも、家庭で必要なものは日ごろから備えておきましょう

4

（出典）首相官邸ホームページ